

給排気グリル(耐湿形)

形名 **RK-15SY1, RK-20SY1, RK-25SY1**

このたびは給排気グリルをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
 お求めの給排気グリルを正しく取り付け、取り扱っていただくために、この取付・取扱説明書をよくお読みください。
 この取付・取扱説明書は工事完了後、お客さまにお渡しください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
 ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
⚠ 注意	*1 取り扱いを誤った場合、使用者が *1 傷害を負うことが想定されるか、または *2 物的損害の発生が想定されることを示します。

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
 *2 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
! 確実に取り付ける	は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「確実に取り付ける」を示します。

⚠ 注意

お手入れのときは、ゴム手袋を着用する

手袋を着用しないときけがをする原因になります。



手袋着用

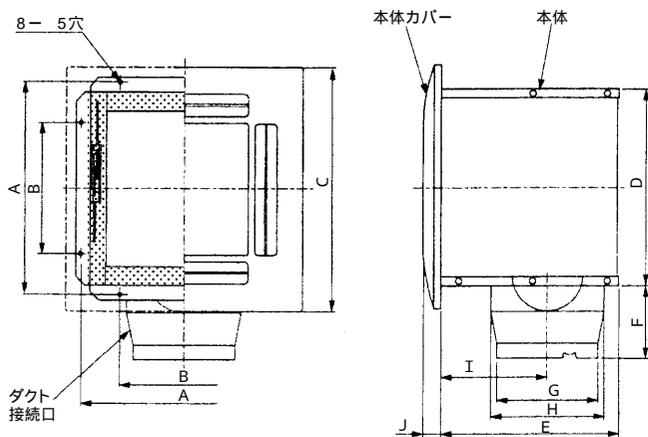
給排気グリルは確実に取り付ける

落下により、けがをする原因になります。



確実に取り付ける

外形図 (単位: mm)



付属品の確認をしてください

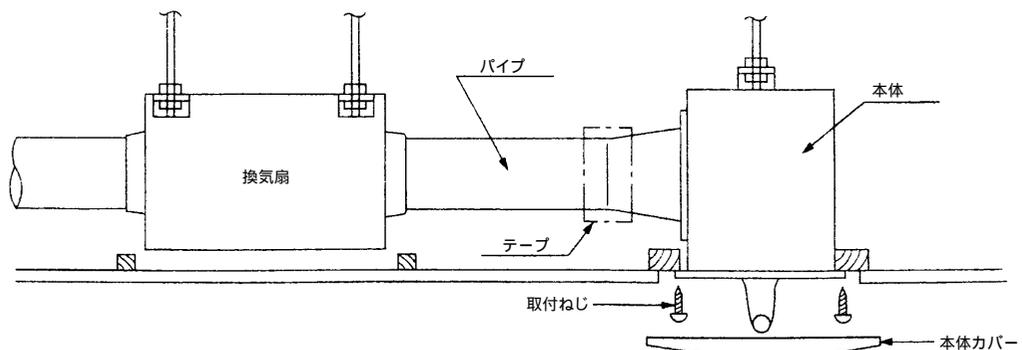
吊下金具.....2個
 ダクト接続口.....1個
 取付ねじ

	ダクト接続口用		吊下金具用		本体固定用	
RK-15SY1	4×8L	4本	4×12L	4本	4×35L	4本
RK-20SY1	4×8L	6本	4×12L	4本	4×35L	4本
RK-25SY1	4×8L	6本	4×12L	4本	4×35L	4本

寸法表

形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	接続ダクト径
RK-15SY1	292	180	335	270	250	100	143	160	150	22	150
RK-20SY1	380	200	420	358	370	85	192	213	185	25	200
RK-25SY1	380	200	420	358	430	85	241	258	270	25	250

取付図



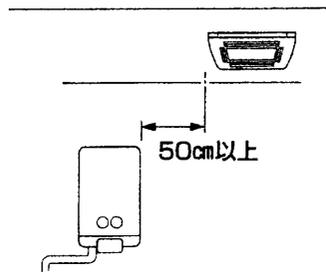
お願い

次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所
ガスレンジの真上
ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）

2. 台所など油煙の多い場所
 3. 腐食性ガスの発生する場所
- 点検口を必ず設けてください。

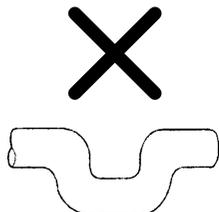
次のようなダクト工事はしないでください。



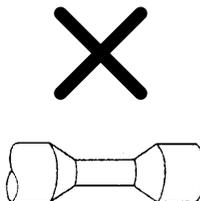
(1) 極端な曲げ



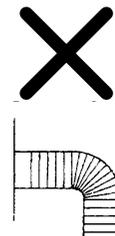
(2) 多回数の曲げ



(3) 接続ダクト径を極端に小さくする



(4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



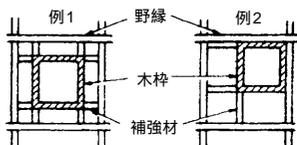
取り付けかた 取り付け前に製品に変形など異常がないか確認してください。

1. 本体を天井に取り付けます。

取り付けかたは、木枠に取り付ける方法と、アンカーボルトで吊り下げる方法があります。

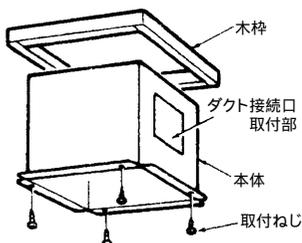
木枠に取り付ける場合

- 1) 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁を固定します。製品の重さに十分耐えるよう木枠を補強材などで野縁に固定します。



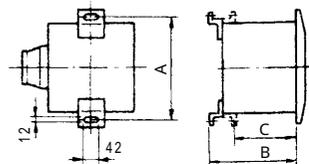
形名	木枠内寸	製品質量
RK-15SY1	275mm	2.9kg
RK-20SY1	363mm	5.2kg
RK-25SY1	363mm	5.6kg

- 2) 本体を木枠に固定します。ダクト接続口取付部の向きをダクトの方向に合わせて付属の取付ねじ（4×35L）で本体を木枠に固定します。



アンカーボルトで吊り下げる場合

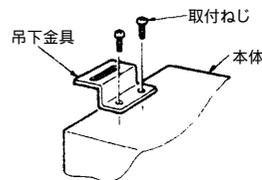
- 1) 右図を参照してアンカーボルトを埋め込んでください。吊下金具は破線のような取り付けも可能です。



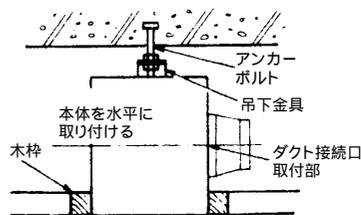
(単位: mm)

形名	A	B	C
RK-15SY1	318	279.5	221
RK-20SY1, RK-25SY1	403	400	341.5

- 2) 付属の吊下金具(2個)を付属の取付ねじ(4×12L)で本体に取り付けます。



- 3) ダクト接続口取付部の向きをダクトの方向に合わせて、本体が水平になるようにアンカーボルトで固定します。

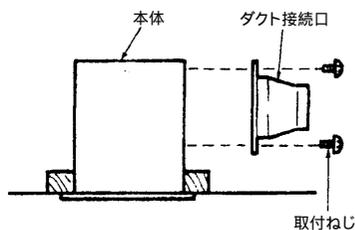


お願い

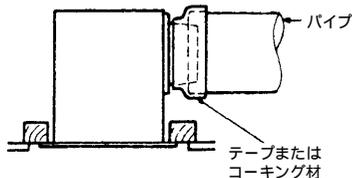
野縁の強度が十分でないときには、アンカーボルトに吊り下げる方法と併用してください。

取り付けかた つづき

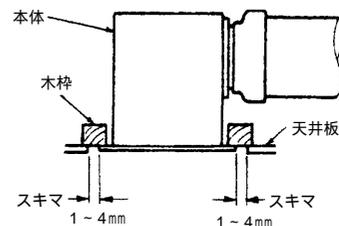
2. 付属のダクト接続口を本体に取り付けます。
付属の取付ねじ(4×8L)で取り付けます。



3. ダクト接続口にパイプをはめ込み、テープまたはコーキング材で密封します。



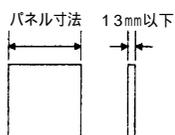
4. 天井板を張ります。
天井板と本体のフランジとのスキマが1～4mmになるようにしてください。



5. パネルを天井板のデザインに合わせるときは、つぎにより行ないます。

(単位: mm)

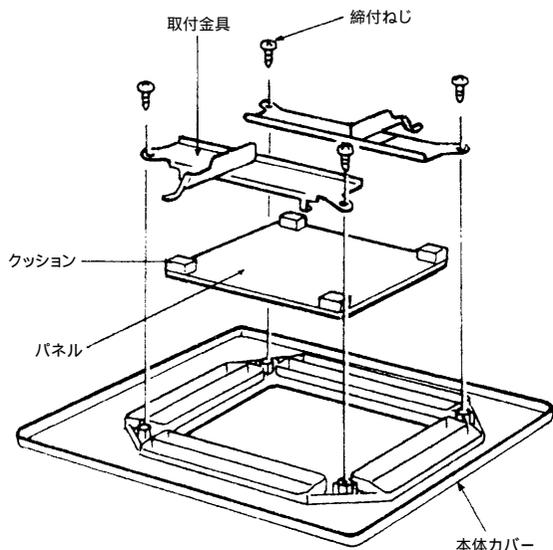
- 1) 天井板をパネルと同じ寸法に切断します。



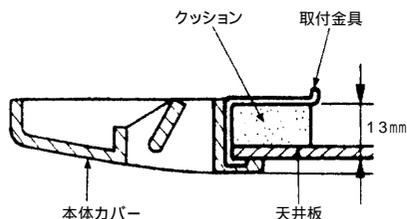
形名	パネル寸法
RK-15SY1	190
RK-20SY1	250
RK-25SY1	

(取り付けられる天井板の厚みは13mm以下です。)

- 2) 取付金具の締付ねじを取りはずします。



- 3) 用意した天井板とパネルを入れ換えて、取りはずしと逆の順序で締付ねじ(4本)にて取り付けます。

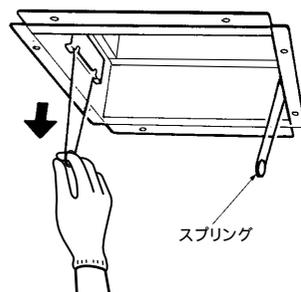


本体カバーとの間にすきまがないように、パネルに貼り付けてあるクッションを切断して、天井板とクッションの厚みが13mmになるように調整して取り付けてください。

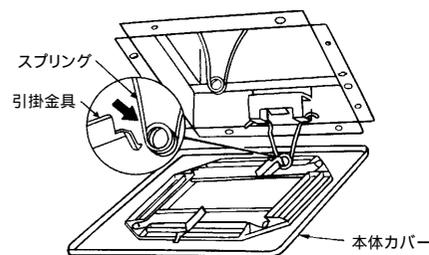
締付ねじは、あまり強く締めつけないでください。

6. 本体カバーを取り付けます。

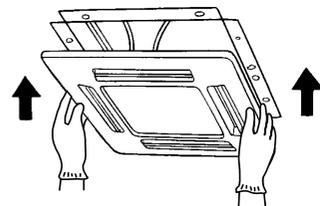
- 1) 本体から2本のスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。



- 2) スプリングに本体カバーの引掛金具を引っ掛けます。(2カ所)



- 3) 本体カバーをそのままゆっくりとおし上げます。



試運転

以上で取り付け完了です。
次の点検をおこない異常がないか確認してください。

確実に取り付けてあること。
製品を運転したとき、異常音・異常振動がないこと。

お手入れ (必ず厚手の手袋を着用してください。)

本体カバーにほこりが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となります。
あまり汚れないうちに(約3ヵ月毎)お手入れしてください。

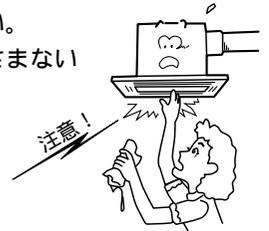
お手入れの前に

掃除には台所用中性洗剤をご使用ください。
また、化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー、ベンジン、灯油、ガソリン、ペンゾール、アルカリ性の合成洗剤などを使用しないでください。(変質・破損の原因となります。)

また、タワシなど固いものを使うと、きずがつかますのでおやめください。



本体カバーや本体のお手入れのとき、
取付金具やスプリングを変形させない
よう注意してください。
スプリングに手をはさまない
ようご注意ください。



お手入れ

1. 本体カバーをはずします。
取り付けかたと逆の順序で本体カバーをはずします。

お願い

変形防止のためにスプリングはいったん本体内に押し込んでおいてください。

2. お手入れをします。

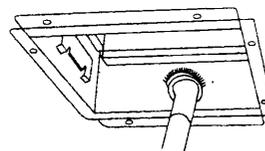
1) 本体カバーのお手入れ

本体カバーは台所用中性洗剤溶液に浸し、よくしぼった布でふきとります。
洗剤が残らないよう十分ふきとってください。



2) 本体のお手入れ

ほこりを掃除機で吸い取ります。汚れのひどい場合は、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。



3. 本体カバーを取り付けます。

はずした逆の順序で、本体カバーを取り付けます。
取り付け後、本体カバーが確実に取り付けられているか確認してください。
不完全ですと落下することがあり危険です。